

さくら並木が横断する生活バランスに富む街

# 大門学区

DAIMON



## 大好きな大門学区の発展を願って

平成28年度  
大門小学校6年生  
八木本孝哉さん

学区には、町ごとに公園があり、毎日多くの大門っ子が遊んでいます。野球やグラウンドゴルフをする大人の方もたくさんいます。その公園がいつまでもきれいに保てるよう、学区の方と公園清掃活動を通し、明るいまちづくりにも貢献します。

平成28年度  
大門小学校6年生  
高橋美羽さん

大門学区は毎年鼓笛隊が先頭の交通安全パレードや、伝統のしめ縄を運転手さんに手渡ししながらの交通安全活動を続けています。こうした学区独特の活動に誇りを持って、これからも長く続けていきたいと思っています。

平成28年度  
北中学校3年生  
岡あかねさん

大門学区は区画が整い、道がよく整備され、緑の多いとても住みやすいまちです。中でも早川沿いの桜は絵画のように美しい並木道です。私はこの並木を守って岡崎の名所にしたいと思っています。

平成28年度  
大門小学校6年生  
瓜生滉平さん

大門小には、大門っ子の森があります。PTA、学区の支援でできたと聞いています。豊かな緑があり、生き物がいて、四季の移り変わりを感じることができます。大門っ子の自慢であり、誇りです。これからも、この森を守っていきたいです。

平成28年度  
大門小学校6年生  
中野花南さん

わたしの学区は中央を走る桜並木、緑が豊かな水郷公園と八剣神社など、まちの中にあっても自然が豊かです。学校にも井戸水を循環させた大きな池ビオトープがあります。いつまでも豊かな自然が残る学区にしたいです。

平成28年度  
北中学校3年生  
二階堂沙耶さん

明治から120年の歴史ある「大門しめ縄」は伝統文化として学区の誇りです。こうした伝統と共に、人口が増え続ける学区民が交流をより深めて、強い絆で結ばれた明るい学区にしたいと願っています。



### 編集後記

岡崎市制が施行された当時はわずか173戸だったが、2016年7月現在で5088戸を誇るに至った大門学区。飛鳥時代前期（7世紀末）に創建されたという北野廃寺の山門がこの地に置かれたことに由来して名づけられた「大門」、承久の乱後に三河守護になった足利尊氏の墓所がある八剣神社など、調べてみれば白鳳時代から我が国の要衝として重要な位置にあったことが改めて認識されました。

この歴史ある学区が、桜の咲き誇るさらに住みよい街になることを念じて止みません。

また、大門小学校創立時に赴任された澤田憲正先生の冊子「学区探訪 大門学区110話」にも大いに助けられました。この場を借りてお礼を申し述べます。

〔作成委員会〕 神尾明幸/石川春次/鶴田鉄夫/  
菅沼剛/中島善治/武田正道

〔参考資料〕学区探訪 大門学区110話（澤田憲正）/  
岡崎市史/額田町史

〔表紙写真〕平成27年11月に行われた桜の植樹祭と、満開に咲いた早川堤の桜並木



1 矢作川河床遺跡から出土した平安時代の灰釉陶器片（写真は川瀬基弘氏の資料より）



2 明治5年の学制発布以前に寺子屋のあった下大門の慈雲寺



3 明治5年の学制発布以前に寺子屋のあった上大門の大円寺



4 昭和46年、土地区画整理事工中の早川（写真は藪田2丁目付近）。現在は桜並木になっている



6 昭和63年の愛知環状鉄道開業（右上）を祝って行われた大門小学校の鼓笛パレード（左下）



7 大門学区の青色パトロールは、岡崎で一番の充実度といわれている

# 大門学区

## まちなりたち

弥生時代中～後期

沖積低地で生活を営むようになる。味噌粕岩遺跡は、その頃の様子を示す数少ない遺跡である

奈良時代～平安時代

矢作川河床遺跡から出土した土器の中には、平安時代には貴重だった灰釉陶器なども含まれていた…1

一八七二年 ■ 明治5

学制発布により、寺子屋にかわって大門学校が開校。後に大門と上里の児童が通う大里学校が上大門にできる。大樹寺と藪田の児童は鴨田の広元学校（現在の<sup>ひろもと</sup>大樹寺小学校）に通っていた…2,3

一八八七年 ■ 明治20

大里学校が広元学校と統合

一九一六年 ■ 大正5

岡崎市制施行

一九五五年 ■ 昭和30

額田郡岩津町が岡崎市に合併  
「岡崎市都市計画中部第二工区土地区画整理事業」開始。併せて新しい国道248号の造成工事也开始…4

一九七五年 ■ 昭和50

学区を縦断する早川沿いに165本の桜の苗木が植えられる

一九七六年 ■ 昭和51

大門、上里、藪田、大樹寺を学区とする大門小学校が大樹寺小学校より分離独立して開校

一九七八年 ■ 昭和53

土地区画整理事業竣工。片側2車線の新しい国道248号（↓地図D）も完成

一九七九年 ■ 昭和54

大門小学校に体育館とプールが完成

一九八五年 ■ 昭和60

大門小学校の開校10周年。「大門っ子の森」が完成…5

一九八八年 ■ 昭和63

葵中学校と岩津中学校より分離独立して北中学校が開校  
大門駅（↓地図H）を含む愛知環状鉄道が開業…6

一九九二年 ■ 平成4

県道26号岡崎環状線の岡崎大橋（↓地図I）が完工  
第1回「大門学区ふれあい運動会」開催。以後、ふれあいを大切に毎年続けられている

二〇〇三年 ■ 平成15

大門学区愛犬パトロール活動開始。ユニークな活動として評価されている

二〇〇五年 ■ 平成17

大門学区青色パトロール活動開始…7  
学区と小学校開校の30周年記念として小学校にビオトープ「ビオ大門」が完成

二〇一五年 ■ 平成27

大門学区が防犯モデル地区に指定されて、防犯カメラ30基が設置される  
岡崎さくら100年プロジェクトに参加。小中学生によって矢作川左岸堤防に桜の苗木（↓地図B）が植えられる

二〇一六年 ■ 平成28

大門学区明るいまちづくり推進委員会が、全国地域安全運動中央大会で警察庁長官と全国防犯協会連合会会長より表彰される

DATA

人口	12,385人
男性	6,413人
女性	5,972人
世帯数	5,088世帯
面積	2.88km <sup>2</sup>

[2016年7月1日現在]

### 「大門」という地名の由来

「大門」という地名の由来には二つの説があります。  
一つは奈良朝の頃、矢作北野に七堂伽藍の北野廃寺があり、その山門がこの地におかれたことに由来しているというもの。

もう一つは昌泰3年（900年）、紀伊の国であった熊野の大門神社の宝剣を護持していた八剣神社（↓地図F）が、この地に降臨したというもの。

どちらの説が正しいかは現在でもわかっていません。

### 大門学区の農業の変遷

戦前は桑畑がたくさんあり、養蚕も盛んな農業地帯だった大門学区。昭和30年代以降は、ビニールハウスによる野菜（ナスなど）の栽培が盛んになりました。現在は市街化が進んだことにより、水田やビニールハウスの数も減少。昔の農業地帯の面影は少なくなっています（↓地図E）。

### 大門学区は公園の多いまち

区画整理によって整然とした道路と多くの公園が整備された大門学区。大門公園、堤下公園、三百田公園などの大きな公園を始め、各町内に合計11の公園があります（↓地図C）。身近な公園の整備率は岡崎でもトップクラス。平成27年には岡崎さくら100年プロジェクトで各公園に桜の苗木が植えられました。

### ビオ大門コンサート

大門小学校のビオ大門では、毎年春と秋に3年生と4年生によるコンサートを開催。多くの学区民が、自然豊かな屋外での野外コンサートを楽しみにしています。



5 大門小学校の開校10周年記念で完成した「大門っ子の森」。平成27年で開校40周年を迎えた現在は、鬱蒼とした立派な森になっている



**H 愛知環状鉄道 大門駅**  
トヨタ自動車などの通勤路線にもなっている愛知環状鉄道線。大門駅はJR岡崎駅と名鉄岡崎公園前駅にも通じている



**I 岡崎大橋**  
矢作川にかかる県道26号の橋。物流倉庫の多い大門には欠かせない産業の大動脈である



**J 命塚**  
明治の半ばに水害時の避難場所としてつくられた。約2mもある立派な石垣で、当時の地域住民の防災意識の高さがうかがえる



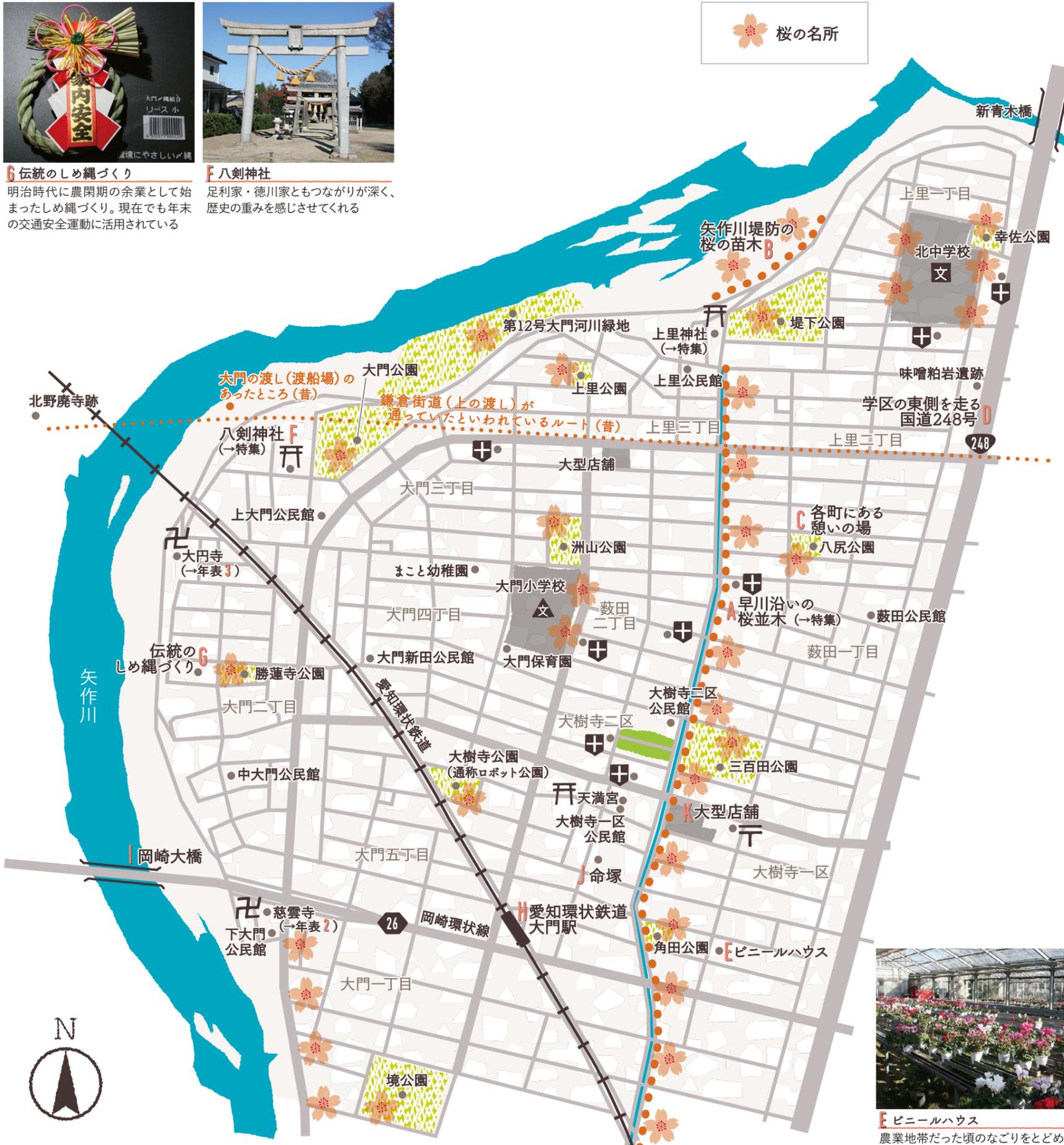
**K 大型店舗**  
暮らしに役立つ大型店舗もあり、大門学区は日常生活の利便性が高いことも特徴だ



**G 伝統のしめ縄づくり**  
明治時代に農閑期の余業として始まったしめ縄づくり。現在でも年末の交通安全運動に活用されている



**F 八剣神社**  
足利家・徳川家ともつながりが深く、歴史の重みを感じさせてくれる



**A 早川沿いの桜並木**  
昔は子どもたちの泳ぎ場だった早川。いまでは165本の桜が見事な並木となって学区を縦断している



**B 矢作川堤防の桜の苗木**  
岡崎さくら100年プロジェクトとして植えられた。今後の成長が楽しみである



**C 各町にある憩いの場**  
大門学区には区画整理によって各町に一つずつの公園がつくられている (写真は上里2丁目の八尻公園)



**E ビニールハウス**  
農業地帯だった頃の名残をとどめており、生活環境に潤いを与えている



**D 学区の東側を走る国道248号**  
交通の要衝である国道248号には、日常生活に欠かせない各種飲食店や商店が並んでいる (写真は菟田1丁目付近)

大門学区  
公園と桜が  
まちなものが  
たりぱいの  
マップ

拡充された道路網や豊富な医療機関など  
生活に便利な施設がそろっている大門学区。  
たくさんの桜と公園もまちの大切な宝です。

# 白鳳時代(645年)からの国の要衝 大門学区のまちのたからもの

## 桜が

あふれる  
まち



165本のソメイヨシノが並ぶ早川堤(↓地図A)は、満開ともなれば多くの市民が散策に訪れ、近年は岡崎の新しい桜スポットとしても注目されています。またソメイヨシノは大門小学校や北中学校の校庭にも咲いているほか、平成27年11月には堤下公園に市長を招いて盛大な桜の植樹祭を開催。これを機会に矢作川土手や各町にある11か所の公園でジンダイアケボノ、ベニシダレザクラ、マイヒメなどのいろいろな種類の桜が植えられました。今後も植栽を増やしながら、大門学区をもっと桜のあふれるまちにしていこうとしています。

△165本の見事なソメイヨシノが並ぶ早川沿いの桜並木



△平成27年11月に行われた桜の植樹祭。大人から子どもまで、たくさんの学区民が参加した

## 安全

明るい  
まちづくりの  
取り組み



△青色パトロール隊と愛犬パトロール隊の皆さん



△上/交通安全を願って毎年の年末に実施されているしめ縄配り  
下/防犯と安全巡視を行なう愛犬パトロール

二千年前から人が住んでいたといわれる大門学区。平成27年度に子どもたちが作成した「大門かるた」と合わせて、4つの学区自慢を紹介します。  
国道248号や岡崎環状線に囲まれ、各種高速道路へのアクセスも良い大門学区。学区内の道路網も拡充されて、朝の通勤時には長蛇の車列ができるようになり、交通量の増加とともに学区独自の交通安全の取り組みが継承されてきました。毎日2台で交通巡回と防犯巡視を行なう青色パトロール(↓年表7)は全11町に配備。さらに学区の誇りでもある交通安全鼓笛パレード、年末に実施している交通安全しめ縄配り(↓地図6)、愛犬の散歩をかねた愛犬パトロールなど、さまざまな取り組みで学区の安全を守っています。

## 歴史

国の要衝として  
栄えた大門



足利將軍家の祖で三河の守護となった足利尊氏の信仰が大変厚く、石宝塔(墓)も置かれている八剣神社(↓地図F)。その発祥は、紀伊国熊野の大門神社御神霊が剣山の剣とともに降臨したことに始まるといわれています。

また、神社裏の大門遺跡からは弥生時代の土器、平安から室町時代にかけての碗と皿、白鳳や鎌倉時代の瓦が出土。二千年前からこの地に人が住んでいたことや北野廃寺との関連が考えられており、北野廃寺が栄えた奈良・平安時代から、大門と北野の渡河を結ぶ鎌倉街道の要衝として多くの人が行き来していたといわれています。



△足利尊氏の石宝塔。建立年は尊氏が亡くなった1358年といわれている

## 盆踊り

子どもたちが  
ばちを振るう



学区に伝わる  
二つの三鹿伝説

足利尊氏が矢作川の大水に困っていたとき、八剣神社に祈ると3頭の鹿が現れて無事に渡ることができたといわれています。また、桶狭間の戦いに敗れて岡崎に逃げ帰る際の徳川家康が、神社から出てきた3頭の鹿に助けられたという「三鹿の渡し」伝説も。大門には歴史上の人物にまつわる逸話が二つも残されています。



△檜の上では子どもたちが太鼓を叩いて盛り上げる



子どもたちが中心になって太鼓打ちを行うようになったのは平成時代に入った頃。昔は数名の大人が担当していましたが、盆踊りを一層盛り上げようと、昭和60年前後より徐々に子どもたちへとその技術が伝承されていきました。



△毎年7月からの厳しい稽古を経て本番に挑む子どもたち。今では30代になった初代のさばき手も指導者として名を連ねている